

# 地域振興県土警察常任委員会資料

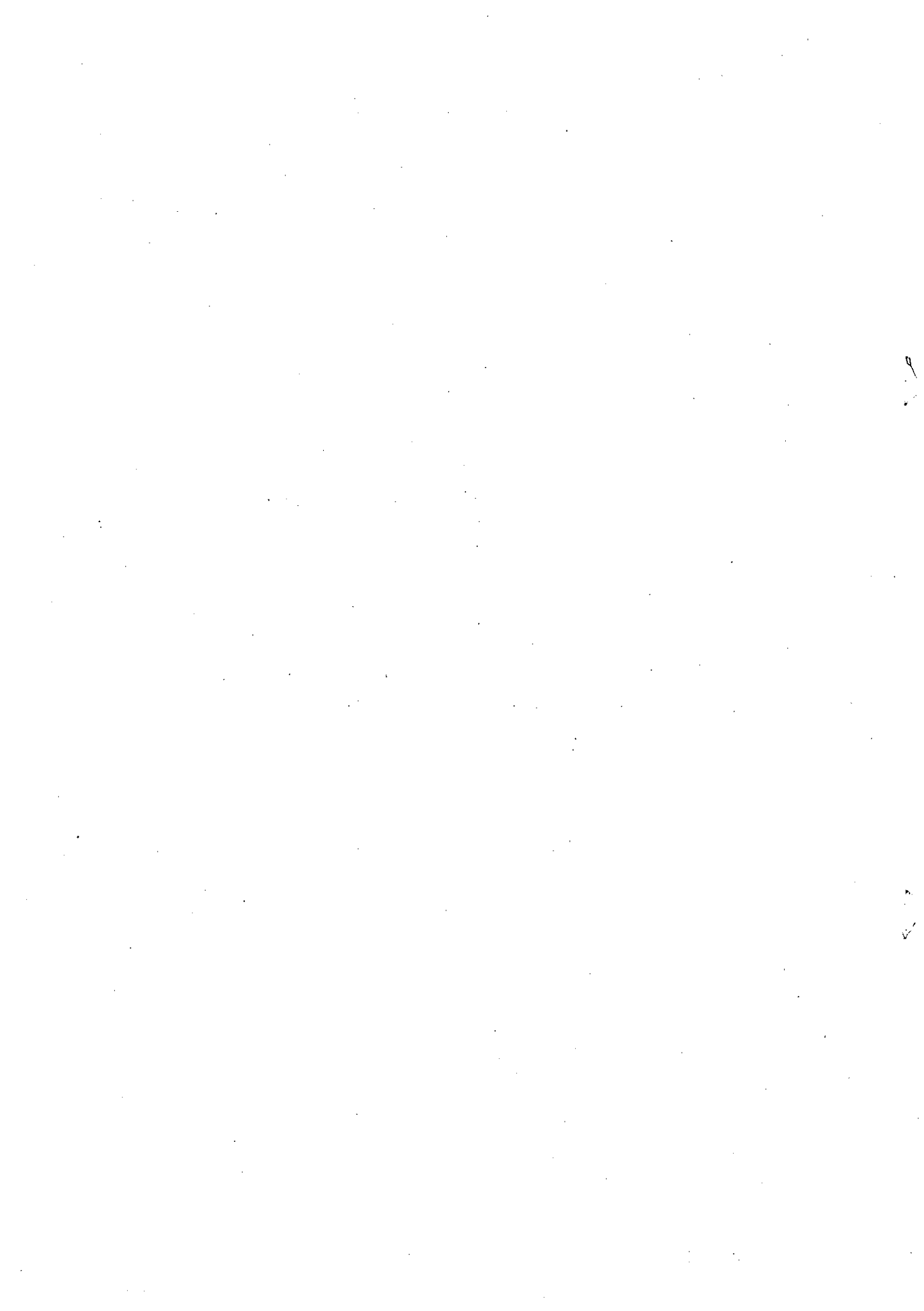
(平成30年3月20日)

[件名]

- 1 平成29年度第2回鳥取県原子力安全顧問会議の開催結果について

(原子力安全対策課) … 1

危 機 管 理 局



## 平成29年度第2回鳥取県原子力安全顧問会議の開催結果について

平成30年3月20日

原子力安全対策課

県地域防災計画（原子力災害対策編）及び広域住民避難計画の修正案、並びに島根原子力発電所2号機の審査状況（基準地震動等）、不適切事案の再発防止対策の取組状況等について、専門的な意見をいただくことを目的として、次のとおり原子力安全顧問会議を開催しました。

1 開催日時 3月19日（月）午前10時～午後0時5分

2 開催場所 県災害対策本部室（県庁第二庁舎3階）

3 出席者

（1）鳥取県原子力安全顧問（14名中8名出席）

（占部顧問、藤川顧問、神谷顧問、青山顧問、片岡顧問、北田顧問、西田顧問、香川顧問）

（2）知事、危機管理局長、原子力安全対策監、原子力安全対策課、原子力環境センター

（3）中国電力（天野鳥取支社長、長谷川島根原子力本部副本部長 ほか）

（4）オブザーバー（県関係課、県警察本部、米子市、境港市）

4 議題

（1）県地域防災計画（原子力災害対策編）、広域住民避難計画の修正について

（原子力安全対策課から説明）

これまで修正案について意見を求めていたこともあり、当日は原子力安全顧問から特段の意見はなく、県地域防災計画（原子力災害対策編）及び広域住民避難計画の修正案について、了承された。

（2）島根原子力発電所2号機の基準地震動について（中国電力から説明）

原子力規制委員会で概ね妥当との評価があった島根2号機の基準地震動について、中国電力からの説明を受けて、原子力規制委員会において適切に審査が行われていることが確認された。

<主な意見>

（原子力安全顧問）震源を特定せず策定する地震動として、2004年北海道留萌支庁南部地震の検討結果から策定した基準地震動が大きい、その影響はどうか。

→（中国電力）これについても耐震計算を行うが、原子力発電所の主要な施設は周期0.2秒以下で大きな影響を受けるため、それ以上の周期で大きくなる当該地震動による影響は、少ないと考えている。

（原子力安全顧問）宍道断層の延長された部分に、地震時にすべり量が大きくなるとする領域を設定していないのは何故か。

→（中国電力）敷地に近いところに設定した方が発電所への影響が大きい。延長したところは発電所敷地から遠いことから、そこには設定していない。

（原子力安全顧問）地震動評価における入力データ（断層幅、断層傾斜角、地震の伝わる速度等）のバラツキを検討しているか。

→（中国電力）バラツキを十分に検討している。

- (3) 島根原子力発電所2号機の審査状況(中間報告)について(原子力安全対策課から説明)  
これまで、案文について意見を求めていたこともあり、当日は原子力安全顧問から特段の意見はなく、島根原子力発電所2号機の審査状況を取りまとめた報告書(中間報告)が了承された。また、3月29日開催予定の鳥取県原子力安全対策合同会議で、同報告書について占部顧問が報告することが了承された。
- (4) 島根原子力発電所1号機の廃止措置の実施状況について(中国電力から説明)  
原子力安全顧問から、新燃料除染の作業において、作業手順や安全性について、実績のある燃料製造会社と協力して検討したのか、とのコメントがあり、中国電力は燃料製造会社の管理の下で作業を行っていると回答した。
- (5) 中国電力の不適切事案の再発防止対策の取組状況について(中国電力から説明)  
不適切事案として、島根原子力発電所2号機の中央制御室空調換気系ダクト腐食に係る再発防止対策の実施状況、島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる添加水流量計の校正記録の不適切な取扱い事案、島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物搬出検査装置の放射能濃度測定プログラム不具合の原因と対策の3つについての説明があり、中国電力の対応に現時点で特段の問題が見い出されないことを確認した。
- <主な意見>
- (原子力安全顧問) 中央制御室空調換気系ダクト腐食に係る再発防止対策でダクトの材質をステンレスから亜鉛メッキ鋼板に変更する理由は。  
→(中国電力) ステンレスは腐食に強いが、腐食を発見しづらいので亜鉛メッキ鋼板に変更する。
- (原子力安全顧問) 最近、企業による検査データの不正が報道されている。その対応の水平展開等はどうなっているか。  
→(中国電力) 検査データ改ざんの報告を受ければ、規格等の確認、評価等を改めて実施する。また、現段階で、そのようなものが納入されたという事実はない。
- (原子力安全顧問) 事故対応を担う中央制御室の居住環境は非常に重要であるので、中央制御室空調換気系は重要な系統で、十分に注意してほしい。
- (6) 平成29年度モニタリング結果(中間報告)の評価等(原子力環境センターから説明)  
島根原子力発電所及び人形峠環境技術センターに係る平成29年度第1四半期から第3四半期のモニタリング結果及び平成30年度のモニタリング計画について、了承された。また、島根県のモニタリングデータも含めて示してほしいとのコメントがあり、事務局から、測定結果の確定時期等を含めて、今後検討すると回答した。
- (7) 平成30年度の鳥取県原子力防災対策(予定)について(原子力安全対策課から説明)  
来年度の県の原子力防災対策について了承された。

## 5 報告事項

以下の2項目を原子力安全顧問に報告した。(原子力安全対策課から報告)

- (1) 平成29年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)の実施結果
- (2) 平成30年版原子力防災ハンドブック